

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和6年12月9日		～ 令和7年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	令和6年12月9日		～ 令和7年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	令和6年12月9日		～ 令和7年1月10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3園	(回答者数) 3園
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	現場通しが繋がりがやすい関係性構築を目指している。互いに実践可能な形を探りやすい。	対等な関係性として、思いの共有も大切にしながら、話し合う形で、ベストではなく、ベターな着地点を探るようにしている。	園の理念や方向性も理解を深めながら、どうすべきかのパターンも作っていく。
2	現場に合わせた支援の形を第一に考える。	どこまで変更工夫が受け入れ可能か、タイミングも考えお伝えするようにしている。	環境(人も物も)を考慮し、支援対象のお子さんだけでなく、全体としての利点もお伝えしていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問の日程調整について、園側にも多分に譲歩していただいている。	多機能事業所として兼務が多い。	児発支援現場の役割分担を明確化していく。
2			
3			